

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム輪楽笑Ⅱ

目標達成計画

作成日: 令和 5 年 10 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	61	コロナウイルス感染予防対策重要課題	令和2～5年度に続き感染の拡大があり、施設からは感染者を絶対出さない事。	・利用者の外出は当分の間自粛する。(R3年～5年度) ・家族等施設訪問の自粛をお願いする。 ・施設に入る時職員も含め、検温、消毒、マスク着用の義務付け、利用者マスク着用、必要に応じて抗原検査キットの実施。	12ヶ月(期間は未定、収束または減少までとする。)
2	13	職員の各種研修の実施	職員としての資質向上と、利用者家族や地域住民から信頼される職員、施設となるよう努める事。また公的機関等が実施する研修も積極的に受講する事。	毎月全体会議で、マニュアルの確認など介護等に対する問題をはじめ、防災関係、熱中症、食中毒など健康に関する事など話し合っている。前年(4年)から「身体拘束・虐待防止に関する指針」を課題として委員会の他に定期的に研修を実施。	12ヶ月(毎年、継続的)
3	35	火災及び地震を想定した避難訓練の実施	常に利用者優先として、施設内に居る時、火災や地震に対し速やかに安全な場所へ避難させること。	年2回の防災訓練において避難訓練、火災通報訓練、初期消火訓練を実施するほか、地震を想定して一時的に利用者を机の下に避難させ、その後屋外へ誘導する事も行う。防災関係マニュアルを熟知するよう指導している。(毎年変わらず)	12ヶ月(令和5年3月、9月に実施済み) 市消防署の実施する。「夜間火災時の避難訓練」研修に参加。
4	4	運営推進会議で指摘された内容を生かした取り組みの実施	年6回開催される会議で助言、指摘された内容を施設運営に生かすこと。(令和4年10月～5年9月まではコロナ感染対策のため5回開催)	地域包括支援センター、民生委員、地域の代表者、地区社協の代表者、家族の代表の方々とホームの現状や問題点を話し合い情報交換も行っている。毎年地域包括支援センターから大変参考になるアドバイスを頂いている。会議の内容を職員に説明している。	12ヶ月(年6回開催今年度は5回)
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。